

2N 65

特 26
238

16.
591

動物學問答

〔非賣品〕

東京英語學校

動物學問答

〔非賣品〕

(一)動物界ノ八小界ヲ擧ゲヨ。

一 原生動物

〔あみーげ〕ノ類

二 海綿動物

海綿ノ類

三 無腸動物

珊瑚ノ類

四 棘皮動物

海膽ノ類

五 蠕形動物

蠕蟲ノ類

六 節足動物

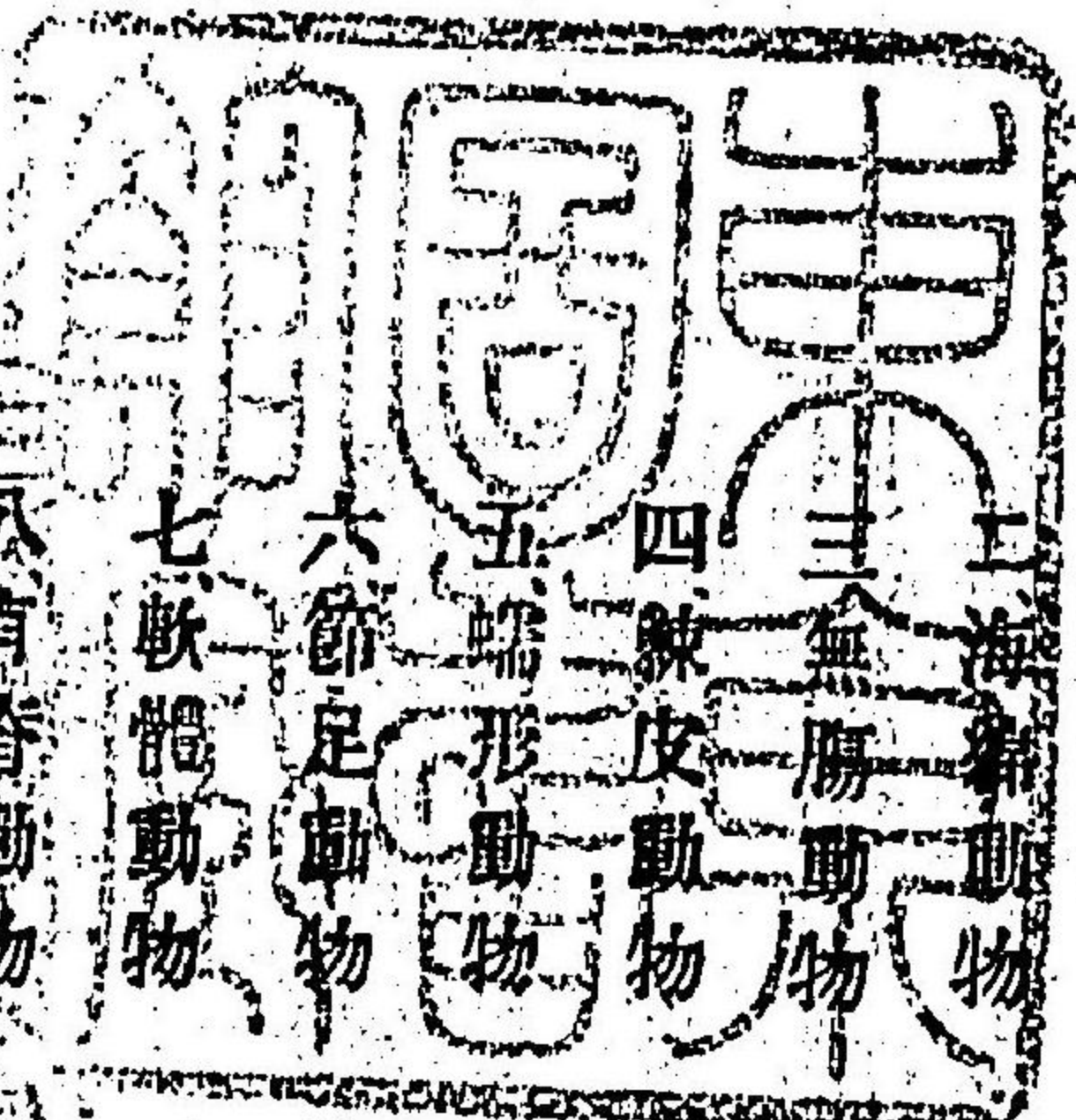
蝦、蜘蛛、蜂ノ類

七 軟體動物

貝ノ類

八 有脊動物

魚、蛙、蛇、鳥、哺乳動物ノ類



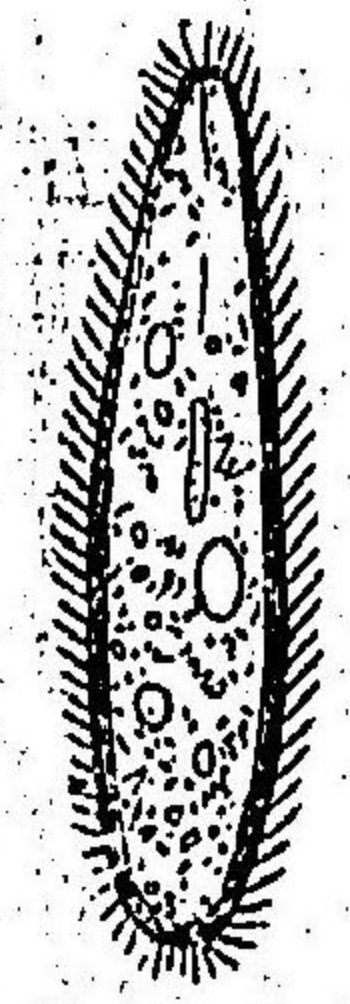
(二)あみーげノ構造ヲ問フ。

單一ノ細胞ニシテ全体ハ原形質ノ軟塊ヨリ成リ、核及收縮胞アリ、神

經并ニ特別ナ、消食腔ヲアルコトナシ。此動物ハ体ノ何レノ部分ニテモ能ク假足ト稱スルモノヲ出シ、食餌ヲ取り、又ハ運動ノ用ヲナス。

(三)滴蟲類トハ何如ナルモノナルヤ。

滴蟲 (原大)



同ジク是レ原生動物ノ一族類ニシテ、静水又ハ溝瀆ノ水中ニ在リ、體ノ周圍ニ纖毛ト稱スル毛ヲ具ヘ、自由ニ水中ニ游泳ス、体ノ一部ニハ口及ビ短キ食道ヲ存ス。

(四)海綿動物ノ構造ヲ問フ。

海綿動物ハ多クハ海中ニ産シ、單体ナルアリ、若クハ群ヲナスコトアリ、大概他物ニ着生ス、凡ソ此類ノ動物ハ角質纖維若クハ石灰質ノ鍼形體ノ多ク錯雜混同シタル者ト、之ニ群棲スル海綿蟲トノ二物ヨリ成ルモノナリ、其纖維若クハ鍼形體ノ錯雜混同シタルモノハ海綿蟲ノ分泌製造スル所ナリ、之ヲ骨格ト稱ス、体ニハ數多ノ小孔及ビ數ケノ

大孔アリ、小孔ノ内面ニ在ル細胞ニハ各纖毛ヲ具ヘ、水ヲ搖動シ、以テ水流ヲシテ小孔ヨリ大孔ニ流出セシム。

(五)海綿動物ニ属スル主ナル動物ヲ舉ゲヨ。

海綿、拂子介、偕老同穴等

(六)無腸動物ノ刺細胞トハ何ゾヤ。

刺細胞トハ体ノ皮膜中ニ存スルモノニシテ、外部ノ刺激ニ應ジテ放射セルラ、微絲ヲ云フ。

(七)無腸動物ノ有スル觸角トハ何如ナルモノヲ云フヤ。

口ノ周圍ニ數多ノ指ノ如キ機關アリテ、感覺ヲ有シ、食餌ヲ捕獲スルノ用ヲナスモノ、即チ觸角ナリ。

(八)珊瑚蟲ノ構造概略ヲ問フ。

珊瑚類ハ一二種ヲ除ク外ハ皆水螅ト稱スルモノ、簇生シテ聚合体ヲナスモノナリ、其水螅ハ各共有鮮肉ト稱フルモノニテ相連ナ

リ其共有鮮肉内ニハ縦横ノ小溝ヲ存シテ之レニ養液ノ循環スルアリ而シテ此共有鮮肉ヲ剝取セル莖軸ハ所謂珊瑚ナリトス。

(九)珊瑚類ニ属スル主ナル動物ヲ記セヨ。

イソキナキヤク、クサヒライシ、キクノイシ、ミヨライシ、ウミヤナギ、ウミシチリ、菟葵、茶、石芝、海花石、石蠶、沙箸、石帆、とくささんご、鐵樹、管珊瑚等。

(十)水母類ノ構造ヲ問フ。

水産ノ動物ニシテ獨生スルアリ、聚合体ヲナスアリ、形ハ圓板ノ如キアリ、半圓ナルアリ、口アレトモ肛門ナシ、肺腔ハ胃ノ作用ヲナスモノトス、口縁ニハ觸角ヲ生ズ、多クハ卵生ナリトス。

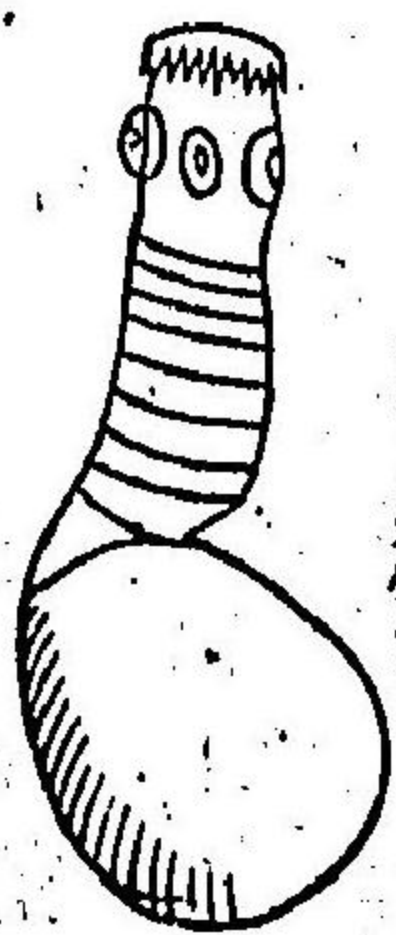
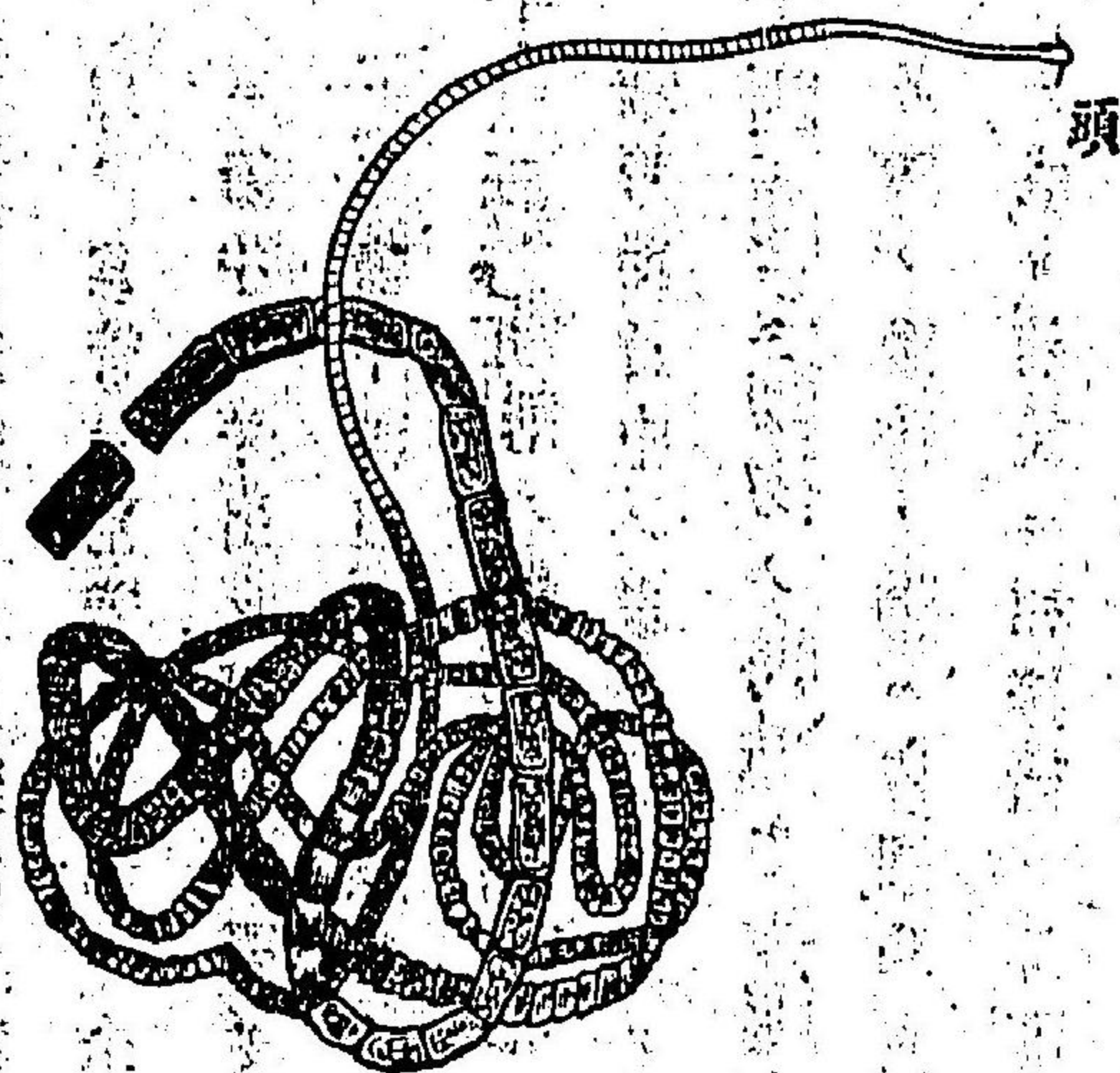
(十一)水管足トハ何ソヤ。

棘皮動物ニ存スル特異ナル管アリ、水管系ト稱ス、此管食道ノ邊ヨリ起リ、体ノ諸部分ニ連絡シ、呼吸ノ作用ヲ營ミ、兼テ水ヲ充テル細管ヲ体外ニ突出ス、是レ即チ水管足ナリ。

(十二)條蟲ヲ記セヨ。

此動物ハ他動物ノ食管ニ寄生スルモノニシテ、体軀ハ扁平長形ニテ、其部分ハ節片ナリ、此節片ハ頭部ニ進ムニ從ヒ漸々狹細トナル、頭ハ

ヒメムシカニ 全形(縮小)



其大サ針頭ニシテ四個ノ吸盤ト環狀ニ排列セル數多ノ鈎トナ有シ、以テ食管ニ附着ス、頭部ハ全体中最重要ノ部分ニシテ是レヨリ漸次ニ節片ヲ芽出シ以テ其長サヲ増大ス。此動物ニハ消化管ナルモノナク、每節片神經水管及雌雄生殖器ヲ有シ以テ卵子ヲ生ズ。

(十三) 蛭 蚯蚓ハ何類ニ屬スルヤ
蠕形動物中ノ環蟲類ニ屬ス。

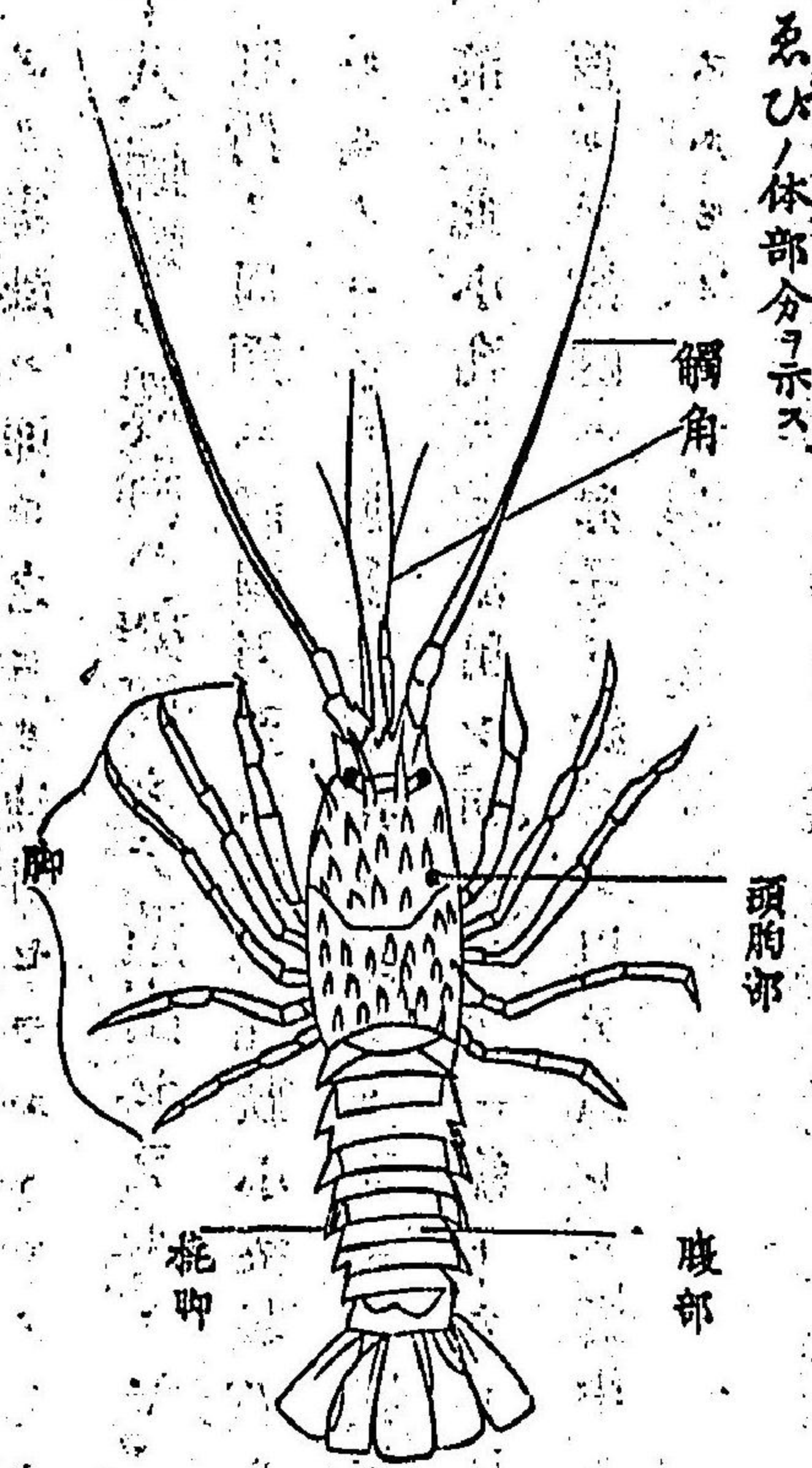
(十四) 節足動物ノ特殊ナル處如何。

此類ノ動物ノ脚ハ皆關節ニヨリテ體軀ニ附着シ且ツ體軀ハ環節ニテ成リ前後ニ相接續シ外部ハ多小堅硬ナリトス。

(十五) 蝦ヲ記セヨ。

皮膚ハ多量ノ炭酸石灰ヲ分泌シ甲殼ノ狀ヲナシ呼吸機ハ鰓ノ形狀ヲナス。脚ハ五對アリテ頭端ニ二對ノ觸角ヲ具フ。體ハ頭胸腹ノ三部ヨリ成リ各部七ケノ環節ヲ有ス。頭胸二部ハ合着シテ一トナル。此頭

胸部ニハ二對ノ觸角ト一對ノ眼目アリ又口ヲ具フ。腹部ハ第一及第七ノ外他環節ハ



各撓脚ヲ具フ。眼ハ小柄ヲ有シ、眼球ハ無シノ極微ナル六角鏡ノ複合ヨリ成ル。之ヲ複眼ト稱ス。俗ニみそと稱スル處

ハ肝臟ナリ。
(十六) 蝦蛄 螯蛄 寄居蟲 蟹類ノ脚ハ幾何アルヤ。

蝦蛄：頭脚五對—脚三對
螯蛄

寄居蟲

十個

蟹類

(十七)蜘蛛ノ毒液ハ何レノ處ヨリ出ヅルモノナルヤ。

蜘蛛ノ上顎ハ元來二節ヨリ成リ其末節鈎狀ニシテ尖頭ニ毒腺ノ孔アリ毒液ハ即チ之ヨリ注出セラル、モノトス。

(十八)蜘蛛ノ蛛絲ハ如何シテ造出セラル、ヤ。

肛門ノ周圍ニ四個乃至六個ノ疣狀小突起アリ是レ紡績突起ト稱スルモノニシテ數多ノ小孔ヲ穿テリ而シテ腹内ノ紡績腺ニ生スル粘液ハ此小孔ヨリ滴出シ相合シテ一條トナリ且凝固シテ蛛絲ヲナス、而シテ蜘蛛ハ卵子ヲ蜘蛛絲ヲ以テ造レル囊中ニ藏シテ善ク之ヲ看守スルモノトス。

(十九)疥癬、面皰ノ原因ヲ説クベシ。

蜘蛛類ノ壁蝨類ニ屬スル疥癬蟲ナルモノアリテ人類ノ皮膚ヲ穿チテ

棲ム中ハ疥癬ヲ病ムニ至リ毛囊蟲ト稱シ疥癬蟲ニ近似スルモノ人類ノ毛根ニ寄生スル中ハ面皰ヲ病ムニ至ル。

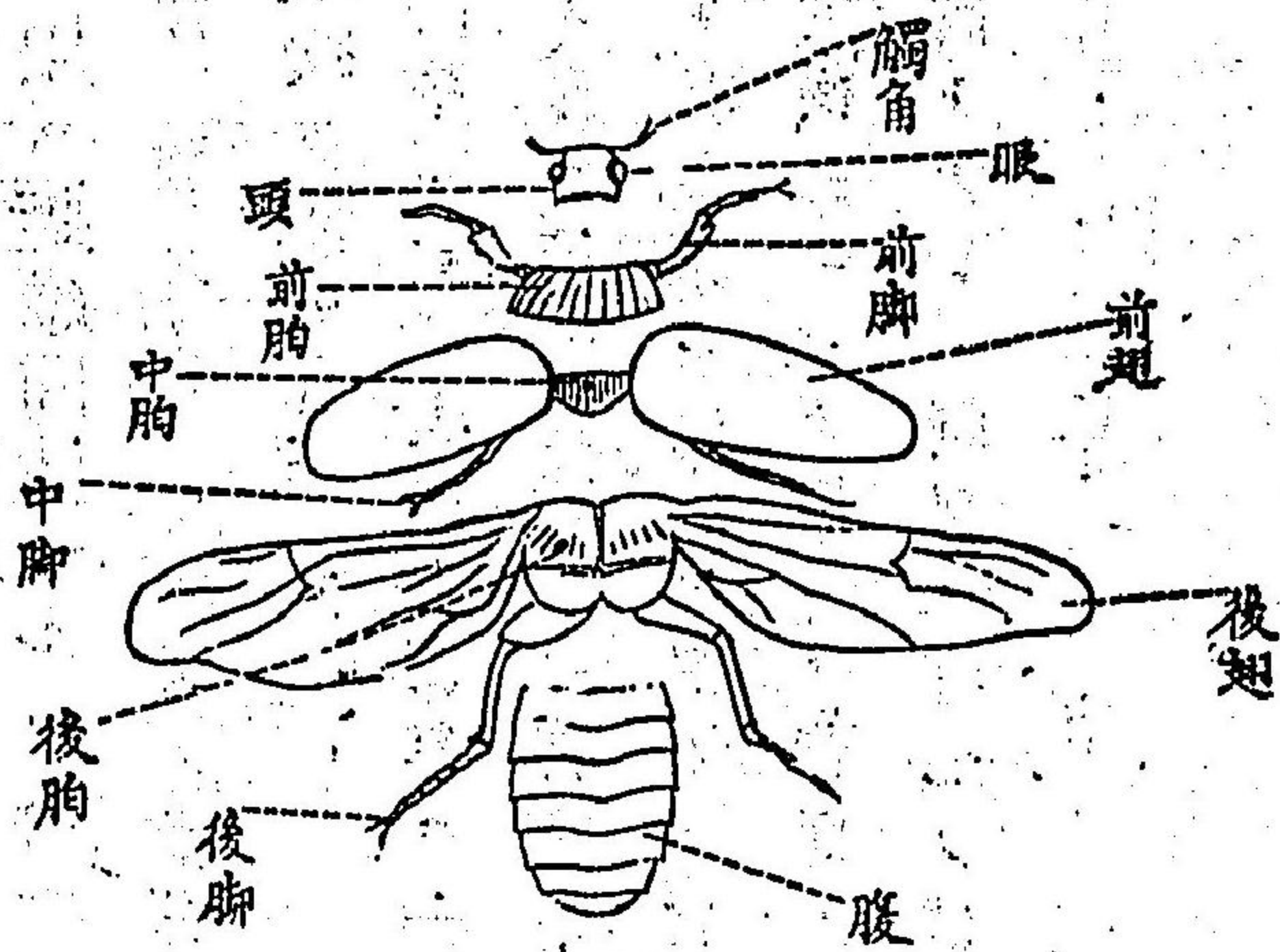
(廿)蜘蛛類ハ雌雄同体ナルヤ否ヤ。

緩歩類ト稱スルモノ、外ハ雌雄異体ナリ。

(廿一)蜈蚣ヲ記セヨ。

体軀扁平ニシテ大概環節毎ニ一對ノ脚アリ其口器能ク發達シ嚙咬ニ適ス殊ニ第一對脚ノ顎脚ニ變ジタルモノハ甚ダ強壯ニシテ鈎狀ヲ爲シ其尖頭ニ毒腺ヲ開クヲ常トス軀ノ長サ數寸ニ達ス頭及ビ下面ハ黃褐色ニシテ軀幹ノ背面ハ暗綠色ナリ脚ハ二十對アリ若シ其嚙ム處トナレハ劇烈ノ疼痛ヲ感ズ。

(廿二)昆蟲ノ解剖



(廿三) 昆虫ノ三變態トハ何ゾヤ。

昆虫類ハ雌雄異体ニテ大率産卵シ其初メテ孵化セル幼蟲ヨリ成

蟲ニ至ルマテ三級ノ變態ヲナスモノトス。即チ蛆ツチ、蟻アリ、蛤カ、蚯ケムシ、蛇ヘビ、鳥トリ、蠅ハエ等ハ皆是レ幼蟲ニシテ其形蠕蟲ニ似テ翅ノアルコトナク、無脚若クハ有脚ニテ甚ダ貪食ナリ。此物數回蛻皮シテ食物收取ヲ止メ、蛹トナル。或ハ又蛹ハ繭ヲ營ミ、其中ニ藏スルコトアリ。是レヨリシテ更ニ時ヲ經レバ脚翅及ビ他ノ機關ヲ發達シ、遂ニ成蟲トナル。

(廿四) 完全變態、不完全變態トハ何ゾヤ。

三次ノ變態ヲ經歷スルモノ之ヲ完全變態ト云ヒ、三次ノ變態充分ナラサルモノ之ヲ不完全變態ト云フ。

(廿五) 完全變態、不完全變態ヲ例ニテ示セ。

蝶、蛾、甲蟲、蜂等ハ完全變態ヲ經歷シ、蝗、蜻蛉等ハ不完全變態ヲ經歷ス。

(廿六) 左ノ諸蟲ノ翅數ト翠數トヲ示セ。

蜂、蛇、蚊、蜻蛉、

蜂ノ脚數ハ六ニシテ翅數ハ四ナリ。

此ノ脚數ハ六ニシテ翅數ハ二ナリ。

蚊ノ脚數ハ六ニシテ翅數ハ二ナリ。

蜻蛉ノ脚數ハ六ニシテ翅數ハ四ナリ。

(廿七)職蟻トハ何ゾヤ。

蟻ハ雌雄ノ外ニ職蟻ト稱スルモノアリテ雌雄共ニ翅ヲ具フレレ職蟻ハ之ヲ有スルコトナシ。職蟻ハ巢及幼蟲ヲ護衛シ、或ハ食物ヲ搜索シテ幼蟲ヲ養育シ、或ハ之ヲ日向ニ携出シ、夜ニ入レバ再ビ之ヲ携エテ巢中ニ歸ル。又雨天ノ日ハ丁寧ニ之ヲ監守シテ怠ルコトナシ。蟻ハ大抵土中ニ縱横隧道ヲ穿テテ巢ヲ營ミ、雌ハ卵子ヲ其中ニ産シ、職蟻ハ種子類ヲ巢中ニ儲蓄シ、以テ冬間ノ食物ニ供シ、或ハ他ノ蟻巢ニ入りテ其幼蟲及蛹ヲ捕ヘ、之ヲ我巢中ニ携ニ歸リ、之ヲ養育シテ職蟻ト爲ラシム。

(廿八)蝶類ト蛾類トハ如何ニシテ異ナルヤ。

蝶類ハ晝間飛行スルモノニシテ、觸鬚ノ頭ハ稍太シ、其靜息スル時ハ兩翅ヲ合セテ之ヲ直立セシメ、其幼蟲ハ繭ヲ造成スルコトナシ。蛾類ハ大概夜間ニ飛行スルモノニシテ、其靜息スル時ハ必ズ翅ヲ擴張シテ背上ニ横タヘ、敢テ蝶類ノ如ク翅ヲ合セテ直立セシムルコトナク、其幼蟲ハ大率繭ヲ造成ス。

(廿九)子子蟲トハ何ナルヤ。

蚊ノ卵子ノ孵化シタルモノニシテ、常ニ水中ニ浮沈シ、時々其尾端ヲ水面ニ現出シテ呼吸シ、其后蛹ニ化スル時ハ其胸部ヨリ凸出セル二管ヲ以テ呼吸シ、數日ヲ經テ再ビ蛻皮シテ蚊トナル。

(三十)蟲類ノ鳴クハ音聲アルニ因ルヤ。

否蟲類ノ鳴クハ(一)前後翅ノ摩擦、(二)翅ト後脚トノ摩擦、(三)腹面ニ具附セラレタル鳴器ノ作用等ニ因ル。

(卅一)甲蟲類ヲ例ニ因テ示セ。

天牛 荒青はねかくし 叩頭蟲 螢 飛生蟲 班蝥等

(卅二)頭蟲、毛蟲ハ如何ニシテ血液ヲ吸收スルヤ。

(卅三)軟体動物トハ如何ナルモノヲ云フヤ。

牡蠣 角貝 螺 蝸牛 章魚 烏賊 等ノ類ヲ云フモノニシテ 体軀柔軟ニ大概 外面ニ堅キ介殼ヲ被リ以テ内部ヲ保護ス。神経系ハ一個或ハ數個ノ 神經ヨリ成ル。心臟ハ之ヲ有スルモノト有セザルモノトアリ。血液ハ 皆無色ナリ。

(卅四)軟体動物ノ類別如何。

二種ニ大別ス。即チ擬似軟体動物及真正軟体動物是レナリ。

(卅五)擬似軟体動物ヲ類別シ、例ニ依テ之ヲ示セ。

- 第一、群棲類……………網具、菊冠貝等
- 第二、腕足類……………酸漿貝、指甲螺等

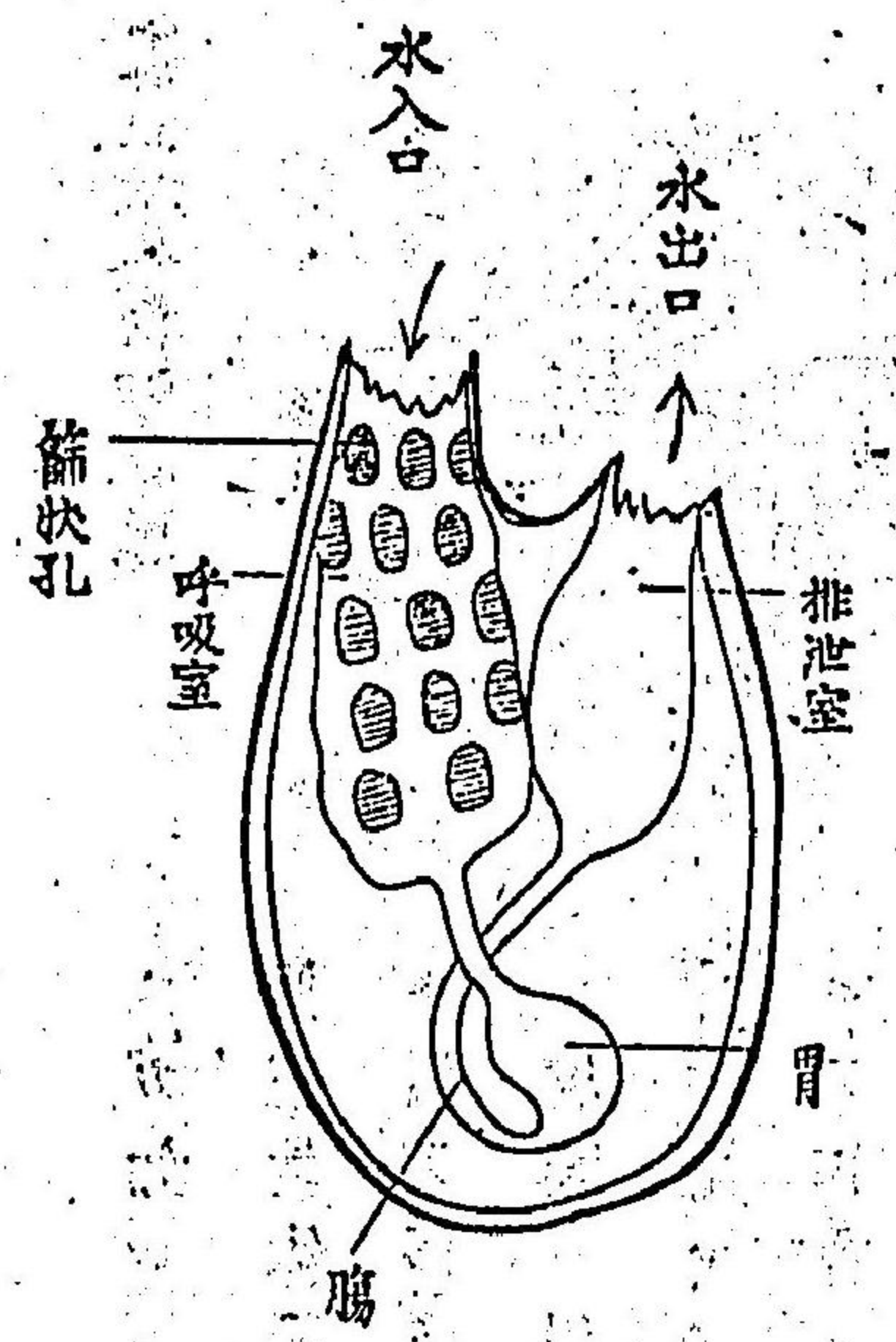
第三、被囊類……………海鞘等

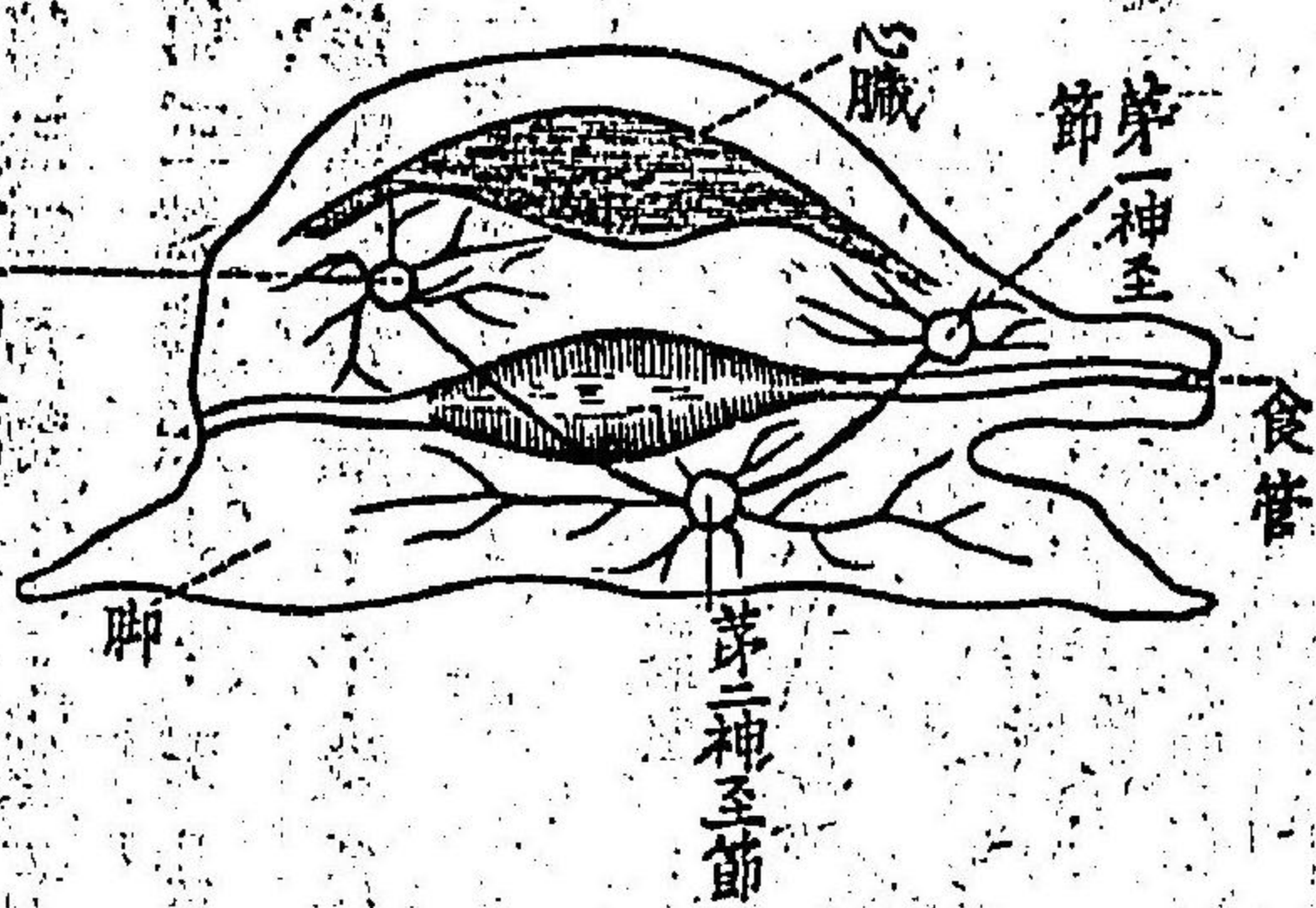
(卅六)真正軟体動物ヲ類別シ例ニ因リ之ヲ示セ。

- 第一、薄腮類……………蛤、海扇、蛤仔、牡蠣、魁蛤等
- 第二、腹步類……………螺、石決明、田螺、蝸牛、蛞蝓等
- 第三、翼步類……………翼步蟲
- 第四、頭步類……………章魚、烏賊、虹魚等

(卅七)擬似軟体動物ト真正軟体動物ノ差異如何。

擬似軟体動物ハ左右平等ニシテ二口ヲ有シ、一ハ水ヲ吸入シ一ハ之ヲ吐出ス。二枚ノ被膜中 外膜ハ其質粗ニシテ内膜ハ肉質ヲナス。内部ノ構造ハ圖ニ示





真正軟体動物ハ關節脚ナク、重ニ肉質ノ腹脚
 ナ以テ移動ス、体軀ハ其背面ニ外套膜ト稱ス
 ル皮膜ヲ以テ被ハル、全体ハ概テ石灰質ノ介
 中ニ藏セラル、介殼ハ單殼若クハ雙殼ノ蝶鈹
 ニテ相合スルモノナリ、呼吸ハ概テ鰓ニヨル、
 神経節ハ必ス三對アリ、雌雄ノ別アリ、卵生ナ
 リ。

(卅八)烏賊ノ脚數幾何ゾヤ。

脚ハ口ノ周邊ニアリテ其數十個アリ。

(卅九)章魚ノ吸盤トハ何ノ邊ニアルヤ。

章魚ハ元來八個ノ脚ヲ有シ、毎脚盡ク吸盤ヲ具フ。

(四十)烏賊ノ水ヲ墨色ニ變ズルハ何如ナル作用ニヨルヤ。

烏賊ノ体内ニハ墨汁囊ヲ蓄藏シ、若シ外敵ノ來襲スルアレバ即チ之
 ヨリ墨汁ヲ噴出スルニ因ル、此墨汁ハ其量僅ニ一分ニシテ百分ノ水
 ヲ染ムルニ足ルモノナリ。

(四十一)軟体動物ハ何ヲ以テ呼吸スルヤ。

概テ鰓ヲ以テ呼吸スルモノナリ、此鰓ハ外套ノ圍メル腔中ニ隱在シ、
 或ハ稀ニ体外ニ裸出スルモノアリ、又時ニ鰓ニ代フルニ肺ヲ以テス
 ルモノアリ。

(四十二)有脊動物ノ特性ヲ問フ。

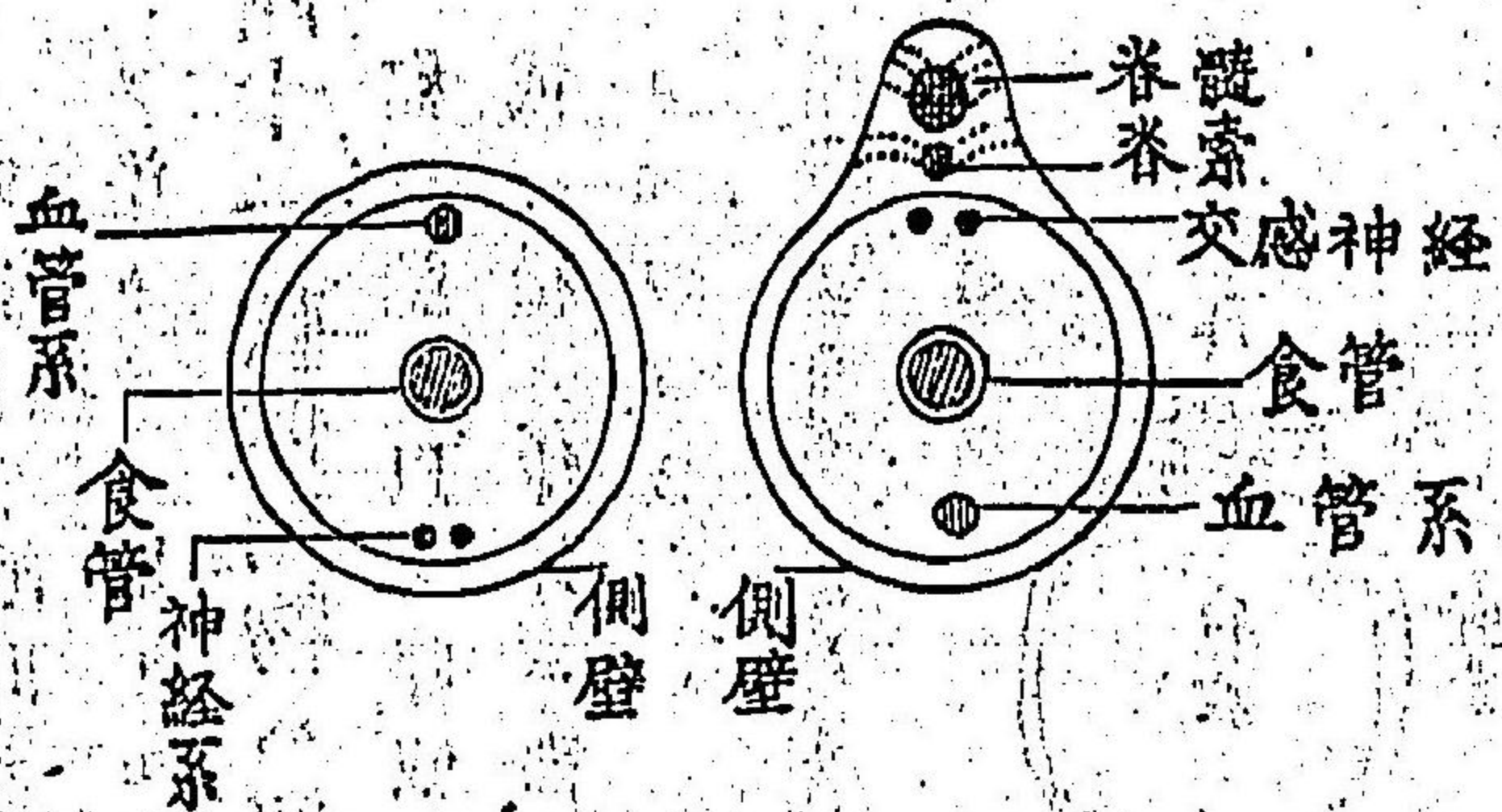
背部脊椎骨及助骨胸骨ノ位置ヲ示ス

脊椎骨
 肋骨
 胸腔
 助骨
 軟骨
 胸骨

骨格ハ大約体内ニ位シテ、筋肉之ヲ
 綴理シ、皮膚之ヲ被包ス、而シテ其皮
 膚或ハ裸躰ナルアリ、或ハ羽鱗、甲若
 シハ羊毛ヲ生メルモノアリテ、躰ハ
 背腹ノ兩面ニ別カレ、其左右平等ニ

シテ神経系ハ必ズ背側ニ位シ、血管系ハ必ズ腹側ニ位ス、而シテ幼稚ノ際ニハ背索ト云ヘル者其間ニアリ、骨格中脊梁骨ナルモノアリ、互ニ相連繫セル數多ノ小骨ヨリ成ル之ヲ椎骨ト云フ。

(四十三)有脊動物ト無脊動物ノ横断面ヲ示セ。



(四十四)有脊動物ノ類別ヲ問フ。

- 第一魚類
- 第二兩棲類

第三爬蟲類

第四鳥類

第五哺乳類

(四十五)魚類ノ特性概略ヲ問フ。

躰ハ頭、軀、尾、鰭ノ四部ヨリ成リ、呼吸ハ鰓ヲ以テス、二室ヨリ成ル心臟アリ、冷血動物ニシテ四肢皆鰭ニ化セリ、皮膚或ハ裸出スルモノアレドモ多クハ鱗ヲ被レリ、脊椎ハ十七乃至百ノ椎骨ヨリ成ル、概テ卵生ナリ。

(四十六)魚類ノ側線トハ何ゾヤ。

躰ノ側面ニ沿ヒ左右各頭部ヨリ尾ニ向ヒテ走レル一條ノ線ヲ謂フ。

(四十七)魚類ノ鰓トハ何ゾヤ。

鰓ハ魚類ノ特異ナル機關ニシテ、食管ト脊椎トノ間ニ位シ、常ニ空氣ヲ含蓄セル筋織膜囊ナリ。

(四十八)魚類ノ生殖ハ如何。

魚類ハ或ル一二種ヲ除ク外ハ皆雌雄異体ニシテ、卵生ハ其過半ヲ占ム、胎生スルモノ、雄ハ一種ノ交接機關ヲ有スレド、卵生スルモノ

、雄ハ否メシテ雌ノ産出セル卵ノ上ニ魚精ヲ灑ギ、以テ生殖ヲ營ム。
(四十九)魚鱗ノ種類。
胸鱗腹鱗肛門鱗脊鱗尾鱗等ナリ

(五十)魚類中手足ニ相當スルモノヲ問フ。
胸鱗及腹鱗是ナリ。

(五十一)有肺魚類ノ特性ヲ問フ。

有肺魚類ノ鰓ハ食道ト交通シ其作用變シテ肺トナル此類ハ即二棲ノ呼吸法ヲ營ム者ニシテ兩季節ニハ鰓ヲ以テ呼吸シ乾燥季節ニハ土中ニ埋没シ肺ヲ以テ空氣ヲ呼吸ス又鼻腔ハ口腔ト相通シ心臟ノ構造モ亦頗ル複雑トナル。

(五十二)硬骨族ヲ例ニテ示セ。

鯢鯉鱈鰻等はナリ。

(五十三)兩棲類ノ特性概略ヲ問フ。

幼時ハ恰モ魚類ノ如ク水中ニ生活シ鰓ヲ以テ呼吸スレモ老生スレバ更ニ肺臟ヲ生シ以テ氣中ニ呼吸ス口ニハ幼時ノミ鰓ヲ有シ長ズ

レバ脱落シテ肺之ニ代ハルモノアリ肺ハ多クハ裸出シテ鱗ヲ生スルモノ稀ナリ四肢ヲ全具スル者多シト雖或ハ後肢ヲ欠キ或ハ全ク無肢ナルアリ皮膚ハ滑濕ニシテ大小數多ノ腺疣ヲ具ヘ以テ一種ノ粘液ヲ分泌ス。

(五十四)蝌蚪トハ何ヲ曰フヤ。

蝌蚪ハ兩棲類ノ卵ノ發生シタルモノナリ必ズ三對ノ外鰓ヲ有シ且ツ撓尾ヲ具フ其成大スルニ隨ヒ逐次四肢ヲ生ズ而シテ蛙類ハ尾部全ク萎縮スルニ至ル。

(五十五)兩棲類ヲ例ニ因テ示セ。

蛙 鯢魚 鱈鰻 金襴子等是レナリ。

(五十六)爬蟲類ノ特性概略ヲ示セ。

體ニハ甲又ハ鱗ヲ被リ四肢ハ全ク之ヲ欠クモノアレモ多クハ之ヲ全具シ或ハ爬行ニ或ハ游泳ニ適ス呼吸ハ總ベテ肺ヲ以テス卵生ナルモノ多シト雖胎生スルモノアリ(毒蛇類)齒ハ概ネ尖銳ニシテ食物ヲ啣引スルニ適スト雖咀嚼ニ便ナラザルヲ以テ生吞スルヲ常トス。

(五十七)爬蟲類ヲ例ニ因テ示セ。
蛇類、蜥蜴類、鱗魚類、龜鼈類等はレナリ。

(五十八)鼈甲トハ何ナリヤ。

鼈甲トハ塊増ノ甲ヨリ製セル者ナリ、此動物ハ主トノ熱帶ノ海ニ産ス。

(五十九)鳥類ノ特性概畧ヲ問フ。

鳥類ハ体ニ羽毛ヲ生シ、前肢ハ翼ニ變ジ、温血卵生ナリ。鳥類ノ骨格ハ頗ル堅強ナリト雖、氣窩ヲ含ムカ故ニ矯輕ナルヲ以テ特性トス。上下ノ鰭ハ延長シテ角鞘ヲ蒙ル、之ヲ嘴ト云フ。胸骨滑大扁平ニシテ中央ニ龍骨凸起ト稱スル隆起部アリ。食管ハ嚙囊、前胃、砂囊、小腸、大腸、排泄腔、肛門等ヨリ成ル。

(六十)鳥ノ三種ヲ問フ。

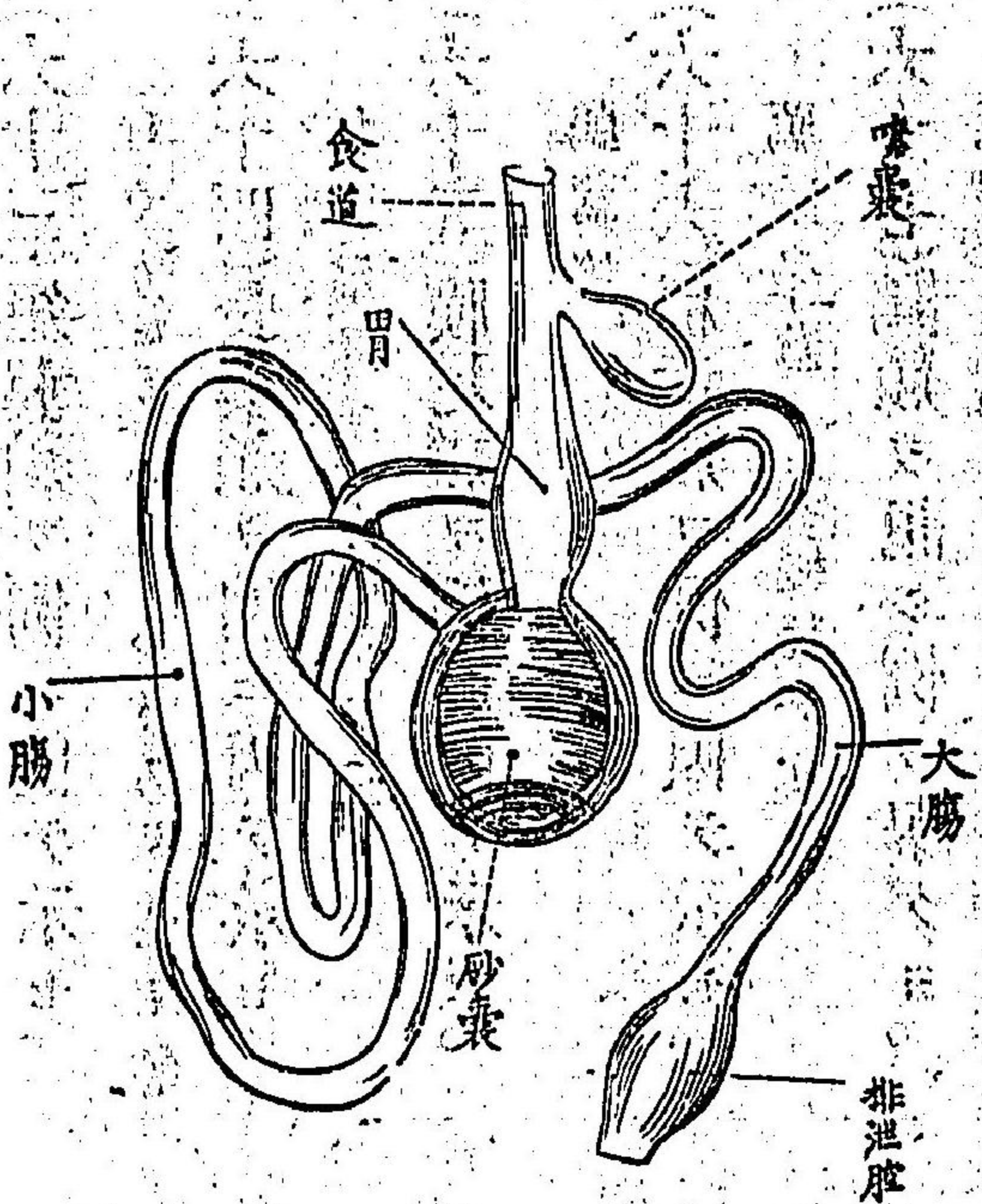
喉鳥……………季候ノ變遷ニ隨ヒテ移轉スル者(鴻雁、燕、鴨等)
鳴鳥……………季候ニ關セズ專ラ餌ヲ追ヒ飛翔轉動スル者(鶻、伯勞、啄木鳥等)
留鳥……………常ニ一地方ニ滯留スル者(雀、烏、雉等)

(六十一)鳥類ノ羽毛ヲ説ケ。

羽毛ハ爬蟲類ノ鱗ト同シク上皮ノ發生セル者ニシテ、^シ及^ヒ羽ノ二種ヲ區別ス、共ニ翻ト稱スル一部ヲ以テ皮膚ニ搜入シ、^ヒ在^リテハ翻ハ羽軸ニ連リテ兩側ニ羽枝ヲ列生ス。羽枝ハ更ニ小枝ヲ列シ、互ニ相密接シテ一面ヲナス、之ヲ羽ト名ヅク、而シテ^ヒ羽ニ在^テハ羽枝至テ柔ニノ相分離シ、且ツ羽軸ナクシテ直ニ翻ヨリ發シ、筆毛狀ヲ爲ス。

(六十二)鳥類ノ消食管ヲ問フ。

齒ナクシテ角質ノ嘴アリ、食道ノ下部ニハ嚙囊アリ、次ギニ胃、砂囊等ニ移ルモノナリ。



(六十三)短翼類ヲ例ニ因テ示セ。

じぐり、うみすずめ、うみからす等

(六十四)長翼類ヲ例ニ因テ示セ。

信天翁、鷗等ノ海鳥ヲ云フ。

(六十五)膜足類ヲ例ニ因テ示セ。

鷓鴣等

(六十六)扁葉類ヲ例ニ因テ示セ。

鷹、鵟、鳶、鷂、ハ其變種ナリ等

(六十七)鶴類ヲ記シ例ヲ擧ゲヨ。

嘴長クシテ其全長角質ナリ前額ト殆ト角度ヲナサズ頸及ビ足モ亦長ク趾間ノ根基ニ小膜ヲ張り或ハ皆全ク自在ニシテ後趾ハ常ニ能ク發達セリ此類ニ屬スルモノハ即チ鶴、鷺、蒼鷺等ナリ。

(六十八)涉禽類ヲ記シ例ヲ擧ゲヨ。

嘴ハ長クシテ其根部軟皮ヲ被リテ前額ト多少判然タル角度ヲナセ

リ、足ハ長クシテ趾ハ全ク自在ナルカ或ハ距間ニ小膜ヲ具フ、水邊ニ棲息シ、小魚、蟲類ヲ捕食ス、飛翔迅速ニシテ能ク久シキニ耐フ、即チ鶺鴒、秧鷄、鶺鴒等ナリ。

(六十九)走禽類ヲ例ニ因テ示セ。

駝鳥等ヲ云フモノニシテ翼ハ極メテ小形ニシテ飛翔ノ用ヲナサズ、走脚強大ナル骨中ニ氣窩ナク胸骨ニ隆起ナシ。

(七十)鶺鴒類ヲ記シ例ヲ擧ゲヨ。

翼小シ體大ニシテ嘴少シク彎曲シ、三趾ハ前ニ一趾ハ後ニ在リ、雄ハ概チ羽毛鮮美ニシテ尾長シ、穀類ヲ食フ雉、鶺鴒、孔雀、家鶺、七面鳥、鶺鴒等ナリ。

(七十一)鳩鴿類ニ屬スル鳥類ノ名ヲ記セヨ。

鳩、鴿等是レナリ。

(七十二)猛禽類トハ何如ナル鳥類ヲ云フヤ。

飛翔迅速嘴爪共ニ銳利ニシテ肉食ヲナス鳥類ヲ云フ、即チ隼、蒼鷹、鷹、鷂、鷓鴣等之ニ屬ス。

(七十三) 燕雀類トハ何如ナル鳥類ナルヤ。

小形ノ禽類ニシテ嘴ハ必ズ短少且ツ全部角質ニシテ軟皮ヲ被ムル
コナシ、喉嚨チ欠ク、鳴機能シ發達シ、穀類若クハ蟲類ヲ食トス、即チ鳥
掠鳥、山雀、伯勞、駒鳥、白頭鶯、鶉、鶉、燕、繡鷲、雀、交喙等之ニ屬ス。

(七十四) 啄木鳥類ノ特性如何。

嘴強大ニシテ稜アリ、舌長ク、先ニ鈎ヲ具ヘ、容易ニ昆蟲ヲ木皮ノ間ヨ
リ鈎出ス、尾ハ短ク硬直ニシテ攀緣ヲ助ケ、飛翔波線狀ニシテ樹幹ニ
攀托スルルハ側方或ハ上方ニ運動スルヲ得レ、下行スル能ハズ。

(七十五) 交喙ノ嘴ヲ記セヨ。

交喙ノ上下兩嘴ハ互ニ相交錯ス、其狀餌ヲ啄食スル等ニハ不便ナル
ガ如シト雖常ニ嘴ヲ以テ樹枝ニ攀緣スルノ用ヲナシ、又松林ニ棲息シ
テ松子ヲ食フヲ視レバ、嘴尖ニテ松果ノ鱗片ヲ搔起シ、以テ松子ヲ啄
ム、巧ニシテ他禽ノ鉛直ナル嘴ヲ以テスルヨリモ更ニ便ナルガ如シ。

(七十六) 哺乳類ヲ記セヨ。

有脊動物中最高ノ地位ヲ占ムル動物ニシテ、其生兒幼稚ノ際ハ概子
之ヲ乳養スルノ特性アリ、前肢後肢共ニ同様ノ構造ニシテ全軀被ム
ルニ茸毛ヲ以テス、頭骨ハ二個ノ突起アリテ脊椎ニ聯繫ス、下顎ハ頭
蓋ト關節ヲナシ、心臟ハ四房ヨリ成リテ血液ハ温暖、其赤血球ハ圓盤
狀且ツ無核ナリ、呼吸ハ肺臟ヲ以テシ、橫隔膜ト名ヅクル者アリテ体
腔ヲ胸腹ノ二腔ニ隔絶ス、齒ニハ乳齒成齒ノ二様アリテ甲ハ初生ニ
生シテ早晚脱落シ、乙之ニ代ハル者ナリ、齒ニ門齒、犬齒、臼齒ノ名アリ、
大抵陸生ノ動物ニシテ一穴類ヲ除クノ外ハ皆胎生ナリ。

(七十七) 哺乳類ノ二大別ヲ舉ゲヨ。

無胎盤乳哺類及ビ有胎盤哺乳類是レナリ。

(七十八) 無胎盤哺乳類ノ例ヲ舉ゲヨ。

鴨嘴獸、ハリモグ、ラ、二穴類ニシテ卵生ナリ、かんがる、袋鼠(有袋類)

(七十九) 胎盤トハ何ゾヤ。

胎盤トハ羊膜ト母体子宮ノ内壁トノ結合ヲ媒介スル器官ヲ云フモ

ノニシテ、胎盤ハ羊膜ト共ニ生ズル最外ノ被包膜夥多ノ小突起ヲ以テ子宮内面ニ密着シ、而シテ血管ヲ導ク所ノ尿膜之ニ加ハリテ成リ、其形狀一様ナラズ、胎盤ハ臍帶ニ因リテ胚体ト接続ス。

(八十)貧齒類ヲ例ニ因テ示セ。

オホアリクビセンゾツアルマシロナマケモノ
大食蟻、鯨、鯉、狢、樹懶等。

(八十一)游水類トハ何如ナル動物ヲ云フヤ。

海洋中ニ棲息スル魚形ノ哺乳類ニシテ概テ巨大ナリ、皮膚ハ裸出シ、前肢鰭狀ヲナシテ皆後肢ヲ欠ク、而シテ尾ハ水平ニ擴張シ、一種ノ尾鰭ヲ形成セリ、耳ニ外殼ナシ、眼ハ小形ニシテ鼻孔ハ頭上ニ開在ス、之ヲ噴孔ト名ヅク、齒ハ或ハ全ク之ヲ欠キ、成ハ之レアルモ皆同大同形ニシテ、大率脱更スルコトナシ、海豚、鯨等之ニ屬ス。

(八十二)鯨鬚トハ何ヲ云フヤ。

鯨ノ一種其上顎ニ纖維性ノ角質板ヲ櫛齒狀ニ列生ス、是レ齒ノ變形シタルモノニシテ、鯨鬚即チ是レナリ。

(八十三)犀、馬ノ蹄數如何及其食物ヲ問フ。

皆奇數ノ蹄ヲ有シ植物ヲ食トス。

(八十四)偶蹄類ノ種別及其例ヲ問フ。

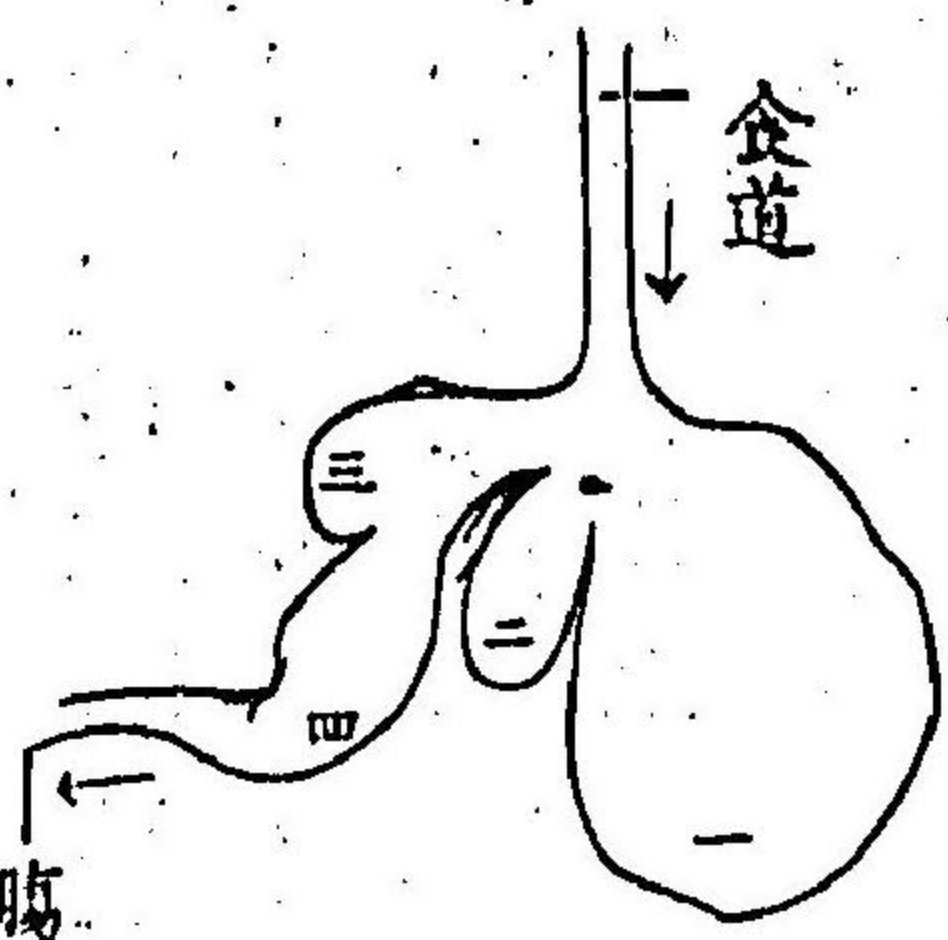
不反芻偶蹄類……河馬、猪等

反芻偶蹄類……駱駝、鹿、牛、羊等

反芻類ノ胃ヲ示ス

(八十五)牛ノ胃ヲ記セヨ。

牛及ビ反芻類ノ胃ハ四室ヨリ成リ、食物ハ先ツ第一室(一、瘤胃)ニ入り、良久シ濕潤シテ第二室(二、蜂巢胃)ニ移ル、之ヨリ口腔ニ還リ、細ニ咀嚼セラル、ノ後復ビ食道ヲ下リ、第三室(三、重瓣胃)ニ入り、次ニ第四室(四、皺胃)ヲ經テ腸ニ入ルナリ。



(八十六)肉食類トハ何如ナル動物ヲ云フヤ。

所謂猛獸ニシテ其特徴トスル所ハ齒ノ形質ニ在リテ三種共ニ完備ス、指ハ四或ハ五アリテ各銳キ鉤爪ヲ具フ、即チ熊、鼬、鼠、海獺、狐、犬、猫、虎

等是レナリ。

(八十七)蝙蝠ヲ記セヨ。

蝙蝠ハ翼手類ニ屬スル動物ニシテ、前肢ノ趾非常ニ延長シ、其間ニ皮膜ヲ張り、飛翔スルヲ得ヒシム。拇指ニハ鈎爪アリテ他物ニ懸垂スベシ。

(八十八)東半球特産ノ猴類ノ主ナルモノヲ擧ゲヨ。

獼猴テナカザル「をあがさる」猩々、猿猴等。

(八十九)人類ヲ記セヨ。

全躰ヲ地ニ接シ行シニ必ズ直立ス。前肢ハ後肢ヨリ稍短クシテ、拇指ハ他ノ四指ト相對シテ以テ物ヲ握取スルノ作用極メテ自在ナリ。後肢ノ趾ハ短小ニシテ上ノ如キ作用ヲ爲サズ。頭腦ハ身体ノ大サニ比スレバ哺乳類中最モ大ニシテ、大脳ハ殊ニ能ク發育シ、且ツ其迂曲セル發積甚ダ多シ、其智識言語等ノ生理上ノ形質ハ他類中絶エテ其比ヲ見ズト雖、要スルニ其差異ハ度ニ在リテ其類ニ在ラズ。

(九十)人類ノ齒數ハ幾何ゾヤ。

全數三十二アリ。

(九十一)鳥類ノ鳴轉スルハ何ニヨルヤ。

氣管下部ノ兩氣管枝ニ分岐スル所少ク膨大シテ、内ニ特別ナル聲帶ノ裝置アルヲ以テナリ。

(九十二)有脊動物ノ血液ヲ問フ。

血液ハ概テ殷紅ニシテ赤白二種ノ血球ヲ含ミ、其血球ノ形狀大小ハ種屬ニヨリテ異同アリトス。

(九十三)線蟲トハ何ヲ云フヤ。

蠕形動物ノ一類ニ屬シ、ハリがねむト稱シ、魚類ノ臍内ニ入りテ寄生スルモノ是レナリ。

(九十四)有脊動物ノ脊椎ノ區別ヲ問フ。

五部ニ分ツベシ、即チ頸椎、背椎、腰椎、臀椎、尾椎、是レナリ。

(九十五)鳥類ノ油腺トハ何如ナルモノナルヤ。

尾ノ根部ニ在ル一種ノ腺ニシテ、鳥類ハ時々嘴ヲ以テ其中ニ蓄フル處ノ油ヲ羽毛ニ塗抹シテ、雨露ノ浸透ヲ防グ、水禽ハ殊ニ此油ニ富ミ、走禽類ハ之ヲ有セズ。

(九十六)蛇類ノ運動ハ何ニヨルヤ。

肋骨ノ末端自在ニ腹鱗ヲ起伏シテ其移動ヲ營マシム。

(九十七)生殖法ニ幾種アリヤ之レガ名ヲ記セ。

二種アリ無性生殖法及有性生殖法是レナリ。

(九十八)單細胞動物ト複細胞動物トハ何如ナルモノヲ云フヤ。

原生動物ハ單細胞動物ニシテ他ノ七小界ニ屬スル動物ハ盡ク複細

胞動物ナリ。

(九十九)組織トハ何ゾヤ。

動物体中數細胞ノ結合シテ一定ノ形狀ヲナシ且ツ作用ヲ爲スモノ

ヲ云フ。

(百)組織ノ種類ヲ擧ゲヨ。

一、皮膚組織

二、結組織

三、筋組織

四、神經組織

明治三十四年五月十九日印刷

全 五月二十日出版

發行兼編輯人

福島縣士族 中村 成忠

東京市小石川區大和町
二十六番地寄留

滋賀縣士族

印刷人

熊田 宜遜

東京市神田區松下町十
三番地

印刷所

熊田 活版所

東京市神田區松下町十
三番地

(九十六)蛇類ノ運動ハ何ニヨルヤ。

肋骨ノ末端自在ニ腹鱗ヲ起伏シテ其移動ヲ營マシム。

(九十七)生殖法ニ幾種アリヤ之レガ名ヲ記セ。

二種アリ無性生殖法及有性生殖法是レナリ。

(九十八)單細胞動物ト複細胞動物トハ何如ナルモノヲ云フヤ。

原生動物ハ單細胞動物ニシテ他ノ七小界ニ屬スル動物ハ盡ク複細胞動物ナリ。

(九十九)組織トハ何ゾヤ。

動物体中數細胞ノ結合シテ一定ノ形狀ヲナシ且ツ作用ヲ爲スモノヲ云フ。

(百)組織ノ種類ヲ擧グヨ。

- 一、皮膜組織
- 二、結組織
- 三、筋組織
- 四、神經組織

明治二十四年五月十九日印刷

全 五月二十日出版

福島縣士族

發行兼編輯人

中村成忠

東京市小石川區大和町二十六番地寄留

滋賀縣士族

印刷人

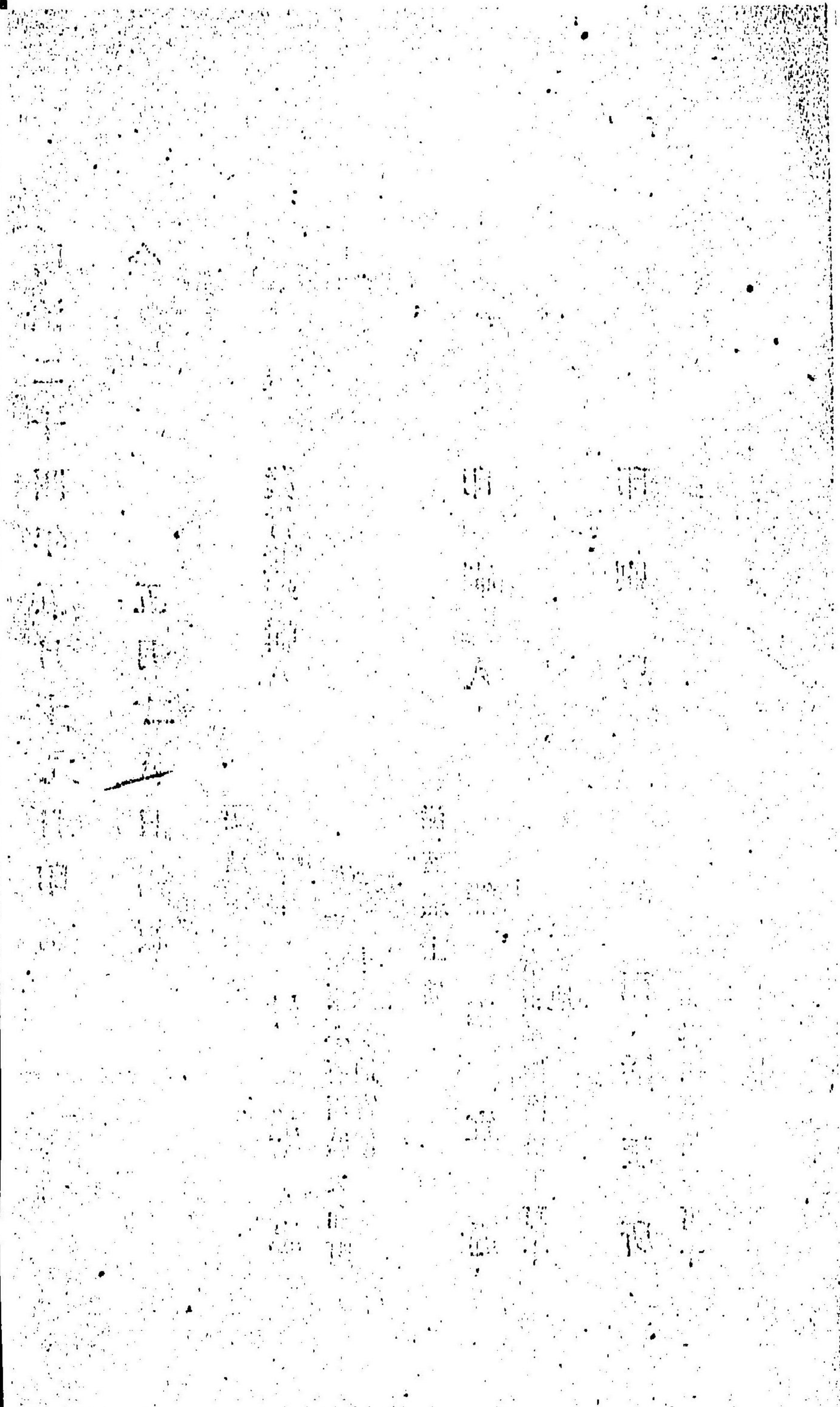
熊田宜遜

東京市神田區松下町十三番地

印刷所

熊田活版所

東京市神田區松下町十三番地



16
591

動物学問答

東京女子大学

057581-000-7

特26-238

動物学問答

中村 成忠/編

M24

CAR-0169

